

広島県立広島北特別支援学校が

第52回博報賞・文部科学大臣賞を受賞しました！

広島北特別支援学校が、公益財団法人博報堂教育財団主催の「博報賞」特別支援教育領域において、博報賞を受賞しました。

また、博報賞受賞者のうち、特に優れた活動に対して授与される文部科学大臣賞を併せて受賞しています。同賞を受賞した学校は、同校を含め全国で3校のみです。

広島北特別支援学校は、これまで広島県立加計高等学校芸北分校と、地域の特産品である「芸北リンゴ」をかけはしとした交流及び共同学習を行ってきましたが、その実践が高く評価されました。

1 表彰の概要

(1) 主旨

子供たちの学習場面、生活場面において、「教育実践の活性化」を果たしている優れた活動を、公益財団法人博報堂教育財団が表彰します。「国語・日本語・ことばの育成に関わる教育実践」と「特別な配慮や多様なニーズのある子どものコミュニケーション活動を支援する教育実践」を軸に6つの活動領域を対象として、優れた取組が顕彰されます。

(2) 被表彰校

広島県立広島北特別支援学校（博報賞・文部科学大臣賞）

【その他の県内被表彰校】

- ・北広島町立芸北中学校（博報賞）
- ・府中町立府中小学校（博報賞）

2 活動概要

活動概要等は裏面のとおり

3 贈呈式

日時：11月12日（金）

場所：日本工業倶楽部会館

※ 本年度は、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、対面とオンラインを併用したハイブリッド型で開催されます。

【被表彰校の活動概要等】

互いを高め合う交流及び共同学習の実践
～芸北りんごがつなぐ高等学校との取組～

活動概要	<p>広島北特別支援学校高等部「職業コース」生徒は、加計高等学校芸北分校生徒と、地域の特産品である「芸北りんご」をかけはしとして、平成25年度から、交流及び共同学習を継続して実践している。具体的には、例えば、広島北特別支援学校生徒が、加計高等学校芸北分校が栽培する芸北りんごの作業や収穫に参加したり、芸北りんごや芸北りんごを使ったパンなどを共同販売したりするなどの活動を行っている。両校による交流及び共同学習は、それぞれの生徒の意欲や自信、将来への夢や希望を向上させるとともに、互いを知り、互いのよさから学び、自校の活動や自らの態度に主体的に生かすなど、互いを高め合う活動となっており、まさに、インクルーシブ教育の理念に則った優れた取組となっている。</p>	
活動歴	<p>平成25年</p> <p>平成26年</p> <p>平成27年</p> <p>平成28年</p> <p>平成30年</p> <p>令和3年</p>	<p>広島北特別支援学校高等部第2学年・第3学年の生徒が、加計高等学校芸北分校・農業類型が栽培する芸北りんごの収穫作業に初参加。その後、芸北りんごを使った「りんごパン」を試作する。</p> <p>広島北特別支援学校高等部第2学年の生徒が、加計高等学校芸北分校が栽培している芸北りんごの袋かけ作業に参加。これ以降、年2回の訪問が始まる。芸北分校が栽培している芸北りんごを使ったパンを製品化し、季節限定メニューに加え、校区のコミュニティセンター、地域の福祉センター、広島県庁などで販売実習を行う。</p> <p>広島北特別支援学校が実施している広島県庁における販売実習に、県立加計高等学校芸北分校が初参加し、共同の販売実習をする。広島北特別支援学校はパンとお菓子を、芸北分校は完熟芸北りんごを販売する。</p> <p>学校内の1階ロビーを整備し、販売実習となるオープンカフェを定期的に始める。</p> <p>加計高等学校芸北分校の生徒が本校に来校し、共同で食品加工を行う。地域での合同販売実習を地元企業にも拡大する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、オンライン交流を実施する。</p>
活動の様子		